

お茶づくりを通して地域活性化にチャレンジし、
在来茶品種を後代につなぐ

まんどころちゃれんじゃー

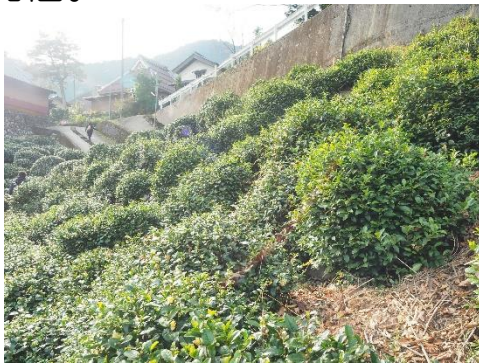
政所茶レン茶 〃ー(滋賀県立大学)

東近江市政所町を大学授業で訪れ、過疎高齢化などが原因で品種改良されていない在来茶品種(政所茶)が途絶えそうであることを知り、外から来た学生の手で政所町や政所茶の魅力を絶やすことなく伝えたいと思い、2012年9月に政所茶レン茶 〃ーを結成。

お茶づくりを実践しながら、
政所茶の魅力を発信

地元農家から茶畑をお借りし、指導を受けながらお茶づくりを実践。

お茶にまつわる文化を学び、茶摘み体験や試飲販売等を通じて政所茶の魅力を発信。



在来茶品種(政所茶)



茶摘み体験

政所茶を継承するため、
新たなニーズを開拓

学生視点で、これまで地域の農家が行ってこなかった「焙じ茶づくり」を企画。

試飲販売において、「苦い、渋い、旨い、その他」の4項目をアンケート調査し、焙じ茶のニーズを知るなど、着実に消費に結びつくよう努力。

学生は取組の中で、日本食文化の茶の味がわかるように。



新茶祭の試飲販売